



美しい 県土づくりNEWS

目次

- ◆2 クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港！！
- ◆4 復興支援道路一般国道 107 号梁川口内トンネル開通！
- ◆6 宮古盛岡横断道路「宮古中央 IC～宮古根市 IC」開通！
- ◆8 滝沢中央スマートインターチェンジ開通！
- ◆10 都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋の架け替えが本格化！
- ◆12 「県庁見学（職員インタビュー）」
～岩泉町小川中学校の生徒が砂防災課を訪れました～

2019 年

4 月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 177 号
令和元年 5 月 15 日発行
編集 県土整備企画室



平成 31 年度県土整備部 新体制でスタート ～キーワードは「前へ」～

今年度の県土整備部は、「我が県土 支え育む 希望郷 「前へ」」を組織のキャッチコピーとして、

- 1 東日本大震災津波からの復旧・復興インフラ整備の推進
- 2 平成 28 年台風第 10 号災害からの復旧事業等の推進
- 3 物流・産業振興や安全・安心な暮らしを支える良質な社会資本施設の整備と管理

を重点施策に掲げ、全職員が一丸となって業務を前へ進めていきます。

県土整備部のキャッチコピー

我が県土 支え育む 希望郷 「前へ」

■ スタートダッシュで「前へ」

2019 年は、「いわて県民計画（2019～2028）」のスタートの年。

いわて県民計画が目指す姿の実現に向け、スタートダッシュで業務を前へ進めます。

■ ゴールに向かって、力強く「前へ」

2019 年は、ラグビーワールドカップ 2019™ の年。

東日本大震災津波や台風第 10 号災害からの復旧・復興のゴール（目標）に向け、スクラムを組んで業務を前へ進めます。

■ 新時代の未来に向けて「前へ」

2019 年は、改元の年。

県民が美しく心を寄せ合い、幸福を守り育てるための基盤づくりに向け、新たな視点を積極的に取り入れ、業務を前へ進めます。

県内初 10万トン超級クルーズ船

「ダイヤモンド・プリンセス」寄港!!

ダイヤモンド・プリンセス

港湾課



4月25日(木)に、県内初となる10万トン超級のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス(全長290m、総トン数11万5,875t、乗客定員2,706人、乗組員数1,100人)」が宮古港に寄港しました。

乗客約2,700人を乗せた「ダイヤモンド・プリンセス」は、朝9時頃、その姿を一目見ようと集まった市民など約2,000人の歓迎を受け入港しました。

今回の寄港では、宮古市内の中高生や専門学生、通訳ガイドのボランティアを含め約600名のスタッフが、岸壁や宮古駅、市内の観光地等で、外国人観光客の観光をサポートしました。

また、入港に際して行われたセレモニーでは、県からは千葉副知事が、地元宮古市からは山本市長が歓迎の挨拶を述べました。

出港時には、市民など約3,000人が、船社のイメージカラーである青色のタオルや大漁旗を振って、お見送りしました。

今年度、岩手県内の港湾へのクルーズ船の寄港は10回を予定していますが、地元市等と連携し、お越しいただく皆様に三陸・岩手を満喫していただき、再度の寄港につながるよう、お迎えしていきます。



入港歓迎セレモニーでの記念品贈呈



多くの市民などがお見送り



岸壁でのおもてなし



太鼓を体験する乗船客

2019年県内港湾へのクルーズ船の寄港実績・予定

入港日	港湾名	船名	入出港日時	
4月25日(木)	宮古港	ダイヤモンド・プリンセス	09:00入港 18:00出港	初寄港 外国船社
5月4日(土)	久慈港	にっぽん丸	09:30入港 17:00出港	
5月8日(水)	宮古港	スター・レジェンド	07:00入港 16:00出港	外国船社
5月18日(土)	大船渡港	飛鳥Ⅱ	08:00入港 17:00出港	
7月2日(火)	久慈港	ぱしふいっく びいなす	09:00入港 18:00出港	
7月4日(木)	宮古港	ぱしふいっく びいなす	08:00入港 17:00出港	
7月12日(金)	久慈港	にっぽん丸	09:30出港	
9月20日(金)	宮古港	にっぽん丸	11:00出港	
9月22日(日)	宮古港	にっぽん丸	16:00入港	
9月22日(日)	大船渡港	ぱしふいっく びいなす	08:00入港 18:00出港	

クルーズ船の寄港時には、お越しいただく皆様に岩手を楽しんでいただけるよう、市民による熱烈的な歓送迎が行われています！



久慈港のおもてなしの様子



大船渡港のおもてなしの様子

～今後の寄港拡大に向けて～

岩手県では、世界最大のクルーズ船見本市に参加し、世界各国に岩手県の魅力をPRするなど、更なる寄港拡大に向け、地元自治体とともにクルーズ船の誘致活動を行っています！

(写真)

クルーズ船見本市「シートレード・クルーズ・グローバル(H31.4.8~11)」日本ブースの様子



【復興支援道路】

一般国道 107号梁川口内トンネルが開通しました!!

～ 復興道路へ一直線！梁川口内トンネルが開通～

県南広域振興局土木部

県が「復興支援道路」として整備を進めている一般国道 107号梁川～口内工区のうち、梁川口内トンネルを含むバイパス部約 2.5km が平成 31 年 3 月 28 日（木）14 時に開通しました。

開通に先立ち、午前 10 時から現地で開通式を開催し、北上市長、奥州市長、岩手県議会議員、地権者等約 130 人が出席しました。開通式では、細川県南広域振興局長式辞、来賓祝辞の後、本トンネル工事の現場見学会にも参加いただいた北上市立口内小学校、奥州市立梁川小学校、両校の児童の代表者から作文発表をしていただきました。

口内小学校の菅野楓さんからは、「トンネルを掘るための機械や工事の様子を見て驚いたことを覚えています。将来、この道路を走るときは、見学したことを思い出しながら走りたいです。これから、この国道 107号梁川口内トンネルが、岩手の復興と交通安全に役立つことを心から願っています。」、梁川小学校の菊池環さんからは、「トンネル工事の途中に呼んでいただき、その度に、トンネルがどんどん出来ていて、トンネルを見るのが楽しかったです。私は、運転免許を取ったら、車を運転して梁川口内トンネルを通ることが楽しみです。」と発表していただきました。

その後、テープカットとくす玉開披、伝統郷土芸能として、北上市の口内地区からは口内小きらめき鬼剣舞、奥州市の梁川地区からは金津流梁小獅子踊りを披露していただき、式典終了後、県の道路パトロールカー先導により盛大なパレードで開通式を締めくくりました。



細川県南広域振興局長式辞



高橋北上市長祝辞



小沢奥州市長祝辞



幸野土木部長事業経過報告



テープカット・くす玉開披



開通式典の様子



口内小きらめき鬼剣舞



金津流梁小獅子踊り



道路パトロールカー先導によるパレード

【梁川～口内工区の事業概要】

一般国道107号は、沿岸部と内陸部を結ぶ幹線道路であり、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波の際は緊急輸送道路として大きな役割を果たしたことから、県では、岩手県東日本大震災津波復興計画（三陸復興道路整備事業）において「復興支援道路」に位置づけ、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築を目指しています。

奥州市江刺梁川から北上市口内町の区間は、急カーブや急勾配が連続する隘路となっており、交通事故が多発するなど安全で円滑な通行の支障となっていることから、県が平成25年度から梁川～口内工区の整備を進めています。

当工区の整備により、「復興道路」である東北横断自動車道釜石秋田線の江刺田瀬ICへのアクセス性が向上し、工業集積地である県南部と重要港湾等が位置する沿岸部を結ぶ道路ネットワークが強化され物流の効率化や産業振興等が図られるほか、峠部へのトンネル整備により冬期間の交通環境が大きく改善されます。

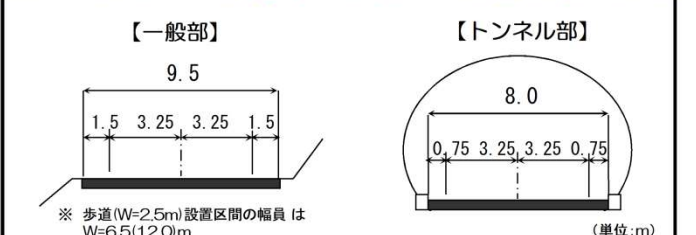
一般国道107号梁川～口内工区の事業概要



計画概要

計画延長	2,690m	
計画幅員	一般部	6.5(9.5-12.0)m
	トンネル部	6.5(8.0)m
道路の区分	第3種第2級	
設計速度	60km/h	

標準断面図



【復興道路 宮古盛岡横断道路 宮古西道路】

「宮古中央 IC～宮古根市 IC」が開通しました！

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県が復興道路に位置づけ整備を進めてきた、宮古盛岡横断道路「宮古中央 IC～宮古根市 IC」が平成 31 年 3 月 30 日（土）15 時に開通しました。

当日は天候にも恵まれたなか、開通に先立ち 11 時 00 分より宮古田鎖 IC の道路上で開通式を開催しました。

開通式では、達増知事、山本宮古市長、国会議員、県議会議員、地元小中学校の児童生徒、用地提供者等の多数の関係者が出席しました。

達増知事による挨拶の後、山本宮古市長、佐々木県議会議長等からのご祝辞をいただきました。



達増知事の挨拶



山本宮古市長の祝辞



佐々木県議会議長の祝辞



テープカット・くす玉開き・バルーンリリース



花輪中学校生徒による「花輪鹿子踊り」



花輪中学校生徒による「南川目さんさ踊り」



宮古市民劇ファクトリーによる「拓け、いのちのみちを」合唱



工事監督員の多田主任(手前左)による力強いパレード号令出発!

【道路整備による効果】

- 国道 106 号市内の慢性的な交通渋滞の回避
- 大雨時の冠水による通行規制箇所の回避
- 地域高規格道路「宮古盛岡横断道路」の一部となり、三陸沿岸道路に直結し、将来的には高速交通ネットワークが形成

【宮古盛岡横断道路 宮古西道路（宮古中央IC～宮古根市IC）の事業概要】



E4 東北自動車道 滝沢中央スマートインターチェンジ 開通!

道路建設課

平成 31 年 4 月 20 日（土）、平成 25 年度に国土交通省の連結許可を受け事業化され、整備が進められてきた滝沢中央スマートインターチェンジの開通式が、滝沢市、東日本高速道路株式会社の共催で開催されました。滝沢中央スマートインターチェンジの開通は、昨年開通となった矢巾スマートインターチェンジ、奥州スマートインターチェンジに続く県内 3 箇所目、盛岡広域圏における 2 箇所目のスマートインターチェンジの開通となります。



テープカット、くす玉開き

式典には、主賓滝沢市長、松崎東日本高速道路(株)東北支社長、達増知事をはじめ、国会議員、県議会議員、地域住民の方々など多数の関係者が出席しました。

開会に先立ち、劇団ゆうによるミュージカルダンスの披露があり、開通式典に花を添えました。



劇団ゆうによるオープニングアトラクション

認定 NPO 法人劇団ゆうは、滝沢市に 100 名、岩手県内 5 つの文化会館にミュージカルメイトが 250 名所属している劇団です。

平成 3 年、滝沢村の青年団 OB によって結成されて以来、「子どもたちに夢と感動を。」の理念の下、世代を超えたミュージカル創作活動を行っており、1 年間に 20 公演、毎年約 1 万人の県民の皆さまにご覧いただいております。

特に東日本大震災被災地域での児童・生徒参加型ミュージカル公演は、今年 9 年目を迎えており、昨年は復興大臣から感謝状を贈呈されました。



主賓滝沢市長 挨拶



松崎東日本高速道路(株)東北支社長 挨拶



達増知事 祝辞

滝沢中央スマートICは、本線直結型のETC専用ICとして、滝沢市の中心部に位置し、今回の開通により、下記の効果が期待されます。

■ ICアクセス時間の改善による居住者・就業者の利便性の向上

高速道路のICまで10分以内でアクセスできる区域が、滝沢市の人口の6割から9割へ増加

■ 交通分散による渋滞緩和

県道盛岡環状線等の混雑が緩和し、円滑な交通や歩行者の安全性向上

■ 産業支援・強化に向けての地域経済活動の基盤整備

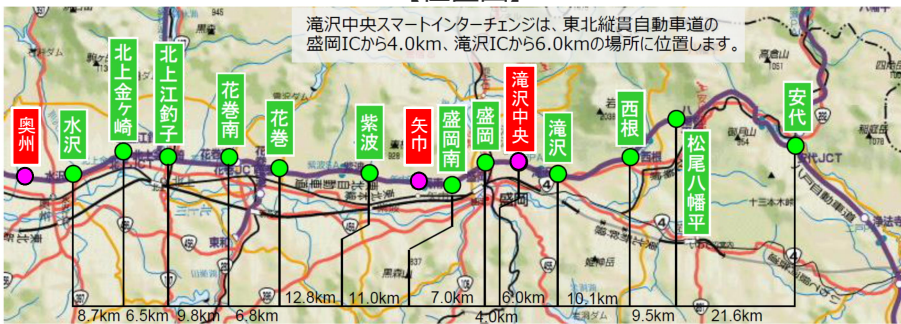
迅速かつ広域的な移動が可能になり、滝沢市及び周辺地域の産業の活性化

■ 搬送時間短縮による地域の救急医療支援

矢巾町へ移転計画が進められてる第三次救急医療機関である「岩手県高度救命救急センター・岩手医科大学附属病院」への搬送時間の短縮が図られ、迅速・確実な救急活動及び救命率の向上

県では、今後とも、物流、医療、観光など、地域に多様な効果をもたらすスマートインターチェンジの整備について、国土交通省の協力をいただきながら、市町村、東日本高速道路株式会社と連携し取り組んでいきます。

【位置図】



【概要】

高速道路名	東北縦貫自動車道弘前線
接続位置	岩手県滝沢市高屋敷平地内
接続形式	本線直結集約型
接続道路	市道茨島土沢線
運用時間	24時間
対象車種	ETC搭載車を搭載した全車種
利用形態	一旦停止型フルインター形式



資料提供：滝沢市都市整備部都市政策課

～都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋の架け替えが本格化～

県北広域振興局土木部二戸土木センター

二戸市の中心市街地に位置する岩谷橋については、「老朽化対策」「歩行空間の確保」「渋滞の緩和」を目的に、平成22年度から事業導入し、これまで主に工事用道路や橋台などを施工してきましたが、この度、橋梁架け替え中の通行を確保するための仮橋が完成し、今年4月に仮橋に通行を切り替えました。

これから本格的に橋梁の架け替えがスタートします。



仮橋供用開始日（H31.4.16）に撮影



仮橋供用開始前（H31.3月）に撮影



仮橋供用開始前（H31.3月）に撮影

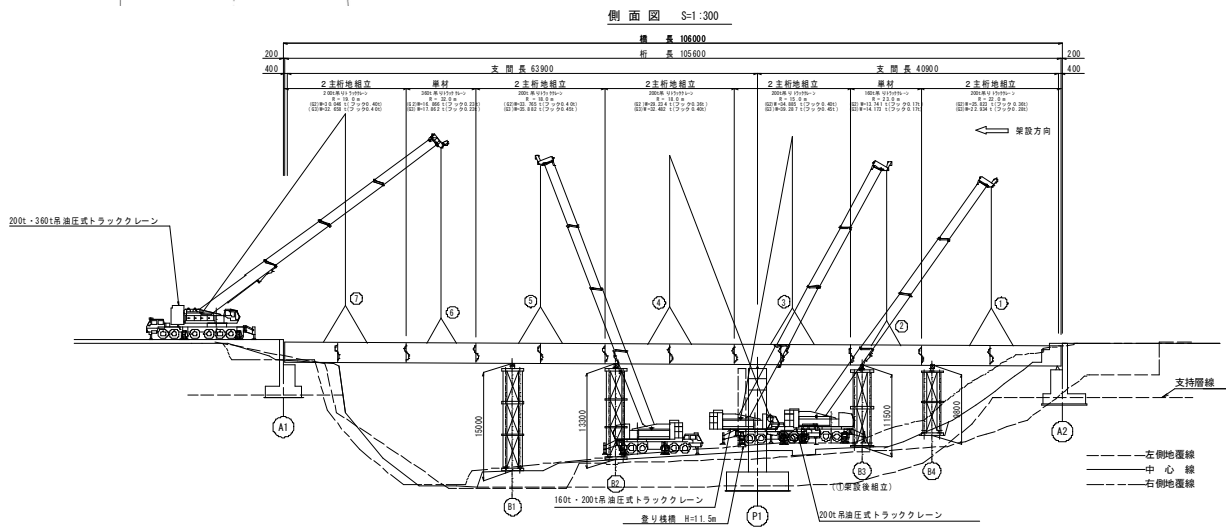
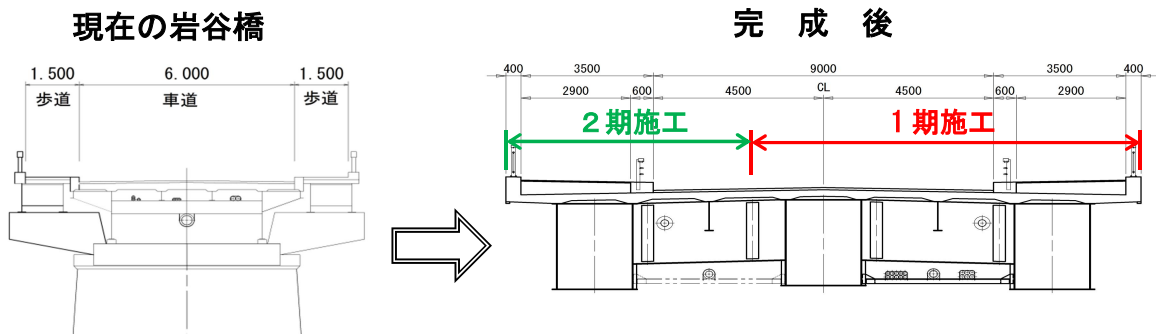
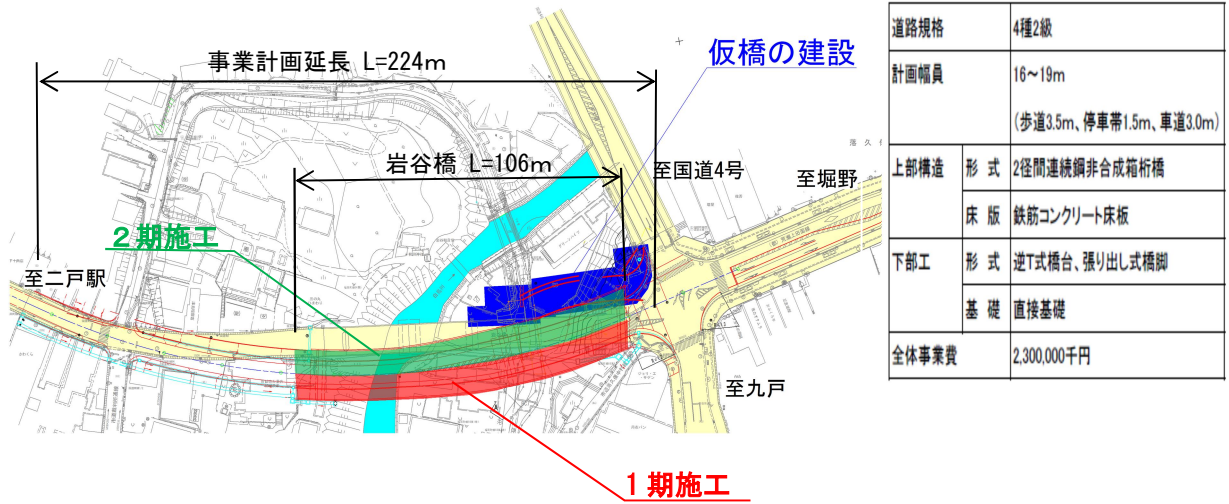
◆事業概要及び施工方法

岩谷橋は、昭和25年に完成してから68年が経過していることから老朽化が進んでおり、加えて、岩谷橋が位置する交差点には右折車線がなく、慢性的に渋滞が発生しています。

また、商店街や家屋が立ち並ぶ市街地の交差点手前にあることや、通学路や通勤路として利用され朝夕の渋滞が激しいことから、橋梁架け替えにあたっては、通行止めを極力避ける必要があります。



橋梁架け替えの施工方法は、今回の仮橋設置を経て、既設の岩谷橋を撤去しながら、半車線分の新しい橋梁を架けて暫定供用を図り（1期施工）、残り半車線分の橋梁を架ける（2期施工）手順で行います。今年3月には「岩谷橋橋梁上部工製作架設（1期）工事」を発注しました。



老朽化した岩谷橋の架け替えに併せた道路整備により、「車両の安全な通行」と「安心できる歩行空間の確保」とともに良好な市街地形成が期待されます。令和3年度の完成を目指して全力で推進していきます。

「県庁見学（職員インタビュー）」
～岩泉町立小川中学校の生徒が
砂防災課を訪れました～

砂防災課

平成 31 年 4 月 18 日（木）、県庁見学（職員インタビュー）として、岩泉町立小川中学校の 2 年生の生徒が、砂防災課を訪れました。

この訪問は、小川中学校の取組みとして、岩手の中心である盛岡の企業等を直接見聞することにより、望ましい勤労観や職業観を育成すること、進路選択に必要な自己理解、職業観の醸成、仕事（業種・職種）理解の促進を図ることをねらい実施しています。

来課した 2 名の生徒は、昨年度岩泉土木センターが同校で実施した土砂災害の出前講座や、平成 28 年台風第 10 号で土砂が流出した溪流で対策を進めている砂防堰堤工事の現場を見学し土砂災害対策に興味を持ち、今回の訪問先に当課を選んでくれました。

砂防について事前に勉強を重ねた生徒から、砂防堰堤の他に地域の特色にあわせてどのような土砂災害対策を進めているのかなどの鋭い質問もありました。

そこで説明した当課の事業についてご紹介します。

1 火山対策事業

岩手山が噴火した際に想定される降灰と降雨により発生する土石流から人命、財産を守るため、砂防設備工事を実施しています。

2 地すべり対策事業

地すべりが発生している箇所に対して、地すべり運動を停止・緩和させるための対策工事を実施しています。

3 急傾斜地崩壊対策事業

台風及び集中豪雨等により急な斜面が崩壊し、崖上下の民家に被害が及ぶのを防止するため、斜面对策工事を実施しています。

4 土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定

土砂災害防止法に基づき、土砂災害のおそれがある区域を調査し、結果の公表、区域指定を行います。また、市町村と連携しながら、危険の周知、警戒避難体制の整備を推進しています。



見学の様子

土砂災害全国防災訓練 2019 キャッチフレーズ

『避難の声掛け、安全の確認』

逃げるという行動を促すには声掛けが重要です。日頃から近隣住民や家族同士で声を掛け合い、災害に備えましょう。